

北房ぶり市

300年以上続いてきた伝統行事



ステージ上での催しでぶりを勝ち取った子どもたち



開催を祝って踊りを披露



ぶりの解体ショーにくぎ付け

まにわ 真庭

まちの話題

冬の伝統行事であり300年以上の歴史を持つ北房ぶり市が2月4日に皆部商店街で開かれました。江戸時代、伊勢亀山藩の飛び地だった中津井陣屋の代官がぶり市を奨励したことが市の起源といわれています。当時のしきたりを模して、伊勢亀山藩からの「ぶり市許可状伝達式」で市は開始。歩行者天国となつた会場には「ぶり小屋」をはじめとするたくさんの露店が立ち並び、大勢の買い物客でにぎわいました。

一緒に五輪を応援しよう JOCオリンピック支援自販機設置セミナー

2月1日、真庭市役所本庁舎に東京オリンピックを応援する自販機が設置されました。清涼飲料水を購入すると売り上げの一部が五輪を目指す競技団体に寄付されます。真庭市が馬術の強豪国であるドイツのホストタウンに登録されていることから、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)が設置を決めました。市内には今後、蒜山ジャージーランドに設置されるなど、地域をあげてオリンピックを応援することになっています。



清涼飲料水を買ってオリンピックを応援!



雪の上を颯爽と駆け抜ける参加者

1月27日、「ファットバイク」の体験会が津黒高原スキー場で開かれ、初心者をはじめ、岡山市や大阪府の愛好者らが参加しました。ファットバイクは、マウンテンバイクよりも太いタイヤを装備していて、空気圧を低くして接地面積を広げることによって、雪や泥、砂などの悪路でも走ることが出来ます。参加者は、時折コースの積雪にハンドルを取られながらも、粉雪を勢いよく舞い上げて颯爽と駆け抜けていました。

雪の上でも走れる自転車 FATBIKE 2018 MTB Snow Ride

1/28 原木市場間を駆け抜ける

久世と勝山の2つの原木市場間約6キロをコースとする「第31回新春木材ふれあいマラソン」が開かれました。スタート直後から雪が降る寒さの中、参加した145人の選手は白い息を吐きながら力走しました。



1/28 生涯学習新春講演会「ことばの力」

北房文化センターで新春講演会が開かれ、講師のNHK岡山アナウンサーの塩田慎二さんが「ことばの力」と題して思いを伝えるための様々なノウハウを軽妙なトークに時折笑いを交え話されました。



2/4 MIT将棋大会

久世エスパスセンターで今回で最後となるMIT将棋大会が開かれ、市内外の子どもから大人まで37人が参加しました。参加した将棋愛好者たちは、対局や審判長の福崎文吾九段による指導対局を楽しみました。



2/7 坂道で鍛えられた足腰の強さが長寿の秘訣

中島たか子さん(月田)が2月1日に百歳を迎えられました。手先が器用で編み物が趣味という中島さん。和食をしっかり食べることや自宅近くの坂道を上り下りして足腰が強いことが長寿の秘訣と元気に話されました。



2/13 笑って歌って迎えた百歳

原のぶ子さん(蒜山下見)が2月10日に百歳を迎えられました。甘いものが好きな原さんは、歌うこともお好きなんだとか。ご家族によると、明るく穏やかで、よく笑い、よく歌うことが長寿の秘訣ではないかということです。



真庭高校落合校地で行われた1年生の発表

2月2日、真庭高校落合校地と落合総合センターで、同校落合校地の1、2年生が地域課題解決に向けた取り組みや地域産品の新たな活用方法などについての発表会が開かれました。この発表会は、実体験を通じて論理的思考力や協働性などを身に付けることを目的に毎年開催。しめ山をテーマとした1年生は、竹を活用して作る遊具で幼児の運動機能向上につなげる取り組みなど、約半年間の活動について発表しました。

地域探究活動の成果を発表
真庭高校落合校地 T&R 成果発表会



フィナンシェで北房をPRして、訪れてもらうきっかけに

2月19日、北房あぎえ茶屋で、岡山県立大学栄養学科と北房農泊推進協議会の構成団体である「ママン」が共同で開発した新商品の発表会が開かれました。協議会では地元農産品を使った加工品の開発を進めており、昨年8月に学生から提案のあった米粉を使ったフィナンシェに、甘味の強い北房産「ロロンかぼちゃ」の粉末を使うなどして商品化。今後は地域の店舗やイベントで販売し、北房地域のPRに活用予定です。

スイーツで北房をPR
岡山県立大学と共同開発の新商品発表会



久世トンネル桜
(4月上旬)



岩井畝の大桜
(4月上~下旬)



美甘宿場桜
(4月上~下旬)



茅部神社の桜並木
(4月中旬)

真庭の桜を見に行こう。

南北に長い真庭市では、およそ1ヶ月に渡って桜を楽しむことができます。春の日差しを浴びながら、桜巡りの旅に出かけてみませんか？

旅のおともに
『真庭さくら旅手帳』
をどうぞ！



醍醐桜
(4月上旬)

平成29年岡山県広報コンクール

「広報写真の部(一枚写真)」と「映像の部」が
『特選』をいただきました

平成29年岡山県広報コンクールで、「広報写真の部(一枚写真)」に出品していた広報真庭2017年10月号の表紙と「映像の部」に出品していた郷原漆器プロモーションビデオが、『特選』をいただきました。尚、郷原漆器プロモーションビデオについては、YouTubeの真庭市公式チャンネルでご覧いただけます。

問 秘書広報課 升本・嶋田 TEL0867-42-1163 (FAX1353)

広報真庭
2017年10月号



郷原漆器
プロモーションビデオ



▲ YouTube
の真庭市公式
チャンネル

まにわがスキッ!!

● 編集後記

「100万年のおくりもの」モニターツアーにカメラを持って同行させていただきました。2日目の雪上スノーシュー探検はシャッターチャンスの連続。不動滝にたどり着くと見事な氷柱がずらり。急いでシャッターを切ろうとするも、いうことをきかないカメラ。低温時はバッテリーの消耗が激しいということを学びました。 嶋田

昨日2月19日は二十四節気の一つ、「雨水」。雪が雨に変わり、草木が芽吹き始める日とされていますが、本当に春の訪れを感じる暖かい日となりました。そして今日も清々しい青空の一日に。広報真庭の来月の校了日は22日。来月編集後記を書いている頃には、穏やかな春風が吹いていることを期待しています。 升本